



松戸市在住のまーくん(6歳)のスイカニャン(上)と
あーちゃん(4歳)の「なんでもあらいぐま」(下)です！
と〜〜ってもかわいらしくて、見てるこちらも楽しい気分になりますね！！
ふたりともとってもありがとう☆☆

「さんしょう」(山椒)建設ニュース

○11月中旬から解体工事が始まりました

看多機「さんしょう」・からたち薬局・あんず訪問看護ステーション等が入る複合施設の建設にむけて、その準備のために、「ハーレ・ヨシ」の解体工事が11月中旬から始まりました。近隣の方々には、騒音やトラックの移動などでご迷惑をおかけして申し訳ありません。

もうすでにだいぶ工事が進み、12月中旬には解体が終了します。その後建設業者の入札などを経て着工は来年2月3日ごろになる予定です。

開設は平成28年9月1日です。

太陽光パネルによる発電や、雨水を貯めて庭木に散水する工夫をし、環境にも配慮した建物・事業運営をしていきます。看護小規模多機能型居宅介護事業所の名前は「さんしょう」に決まりました。「山椒は小粒でぴりりと辛い」と言いますが、小規模でも多機能なその機能にぴったりな名前を樹木の中から選びました。幸樹会の事業所には樹木の名前がついており、それぞれの名前にも由来があります。新しい建物には庭もあるので、事業所名の樹木を植えたり草花を育てたりと町の環境美化にも貢献したいと思えます。屋上にはプランター菜園や花壇を作り、利用者さんがくつろいで過ごせるようなスペースも作りたいと思っています。

○あんず訪問看護ステーション・

幸樹会本部は引越しました

建築工事の間、あんず訪問看護ステーション・幸樹会本部は、下記事務所になります。よろしく願いいたします。

あんず訪問看護ステーション

住所：松戸市河原塚394 エコトピア六番館102号室

電話番号そのまま：047-701-5559

FAX番号そのまま：047-701-7676

本部事務所は、同じ建物の201号室です。

冬がピーク！ノロウイルス！

毎年12月から1月にピークを迎えるノロウイルス。

今年はなんと新型ノロウイルスも発見され、過去最高の患者数を上回る感染が懸念されています。

ノロウイルスは感染してから潜伏期間24～48時間があり、その後腹痛、嘔吐や下痢などの症状が1～2日ほど続きます。症状が治まっても、ウイルスの排泄は長くて1か月続くこともあります。しかし現在、このウイルスへの治療薬はなく、脱水などに対する対症療法しかありません。そのため、高齢者や子どもなど体力の弱い方の感染には十分に気を付ける必要があります。

【予防方法】

①調理する人の健康管理！

*ノロウイルスの症状があるときは調理をしないようにしましょう。

②十分な手洗い

*石鹸と流水でしっかり汚れを落としましょう。

③調理器具の消毒

*85度以上の熱湯に1分間以上漬ける。または塩素系漂白剤(ハイターなど)を塩素濃度200ppm(商品によって異なりますが、500mlペットボトルにキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れ、水で希釈)で浸すように拭きましょう。

【感染した人の吐くつ、便を片付けるには】

①使い捨てのマスク、エプロン、手袋を着用。

塩素系漂白剤1000ppm(上記の5倍の濃度)で浸し、ペーパータオルで拭き取り、ゴミ袋に破棄。*この際ゴミ袋内に破棄したものが浸かるくらい1000ppmの塩素系漂白剤を浸すとさらに良いでしょう。

②汚染されたりネンなどは、85度以上の熱湯に1分間以上の熱水洗濯。

塩素系漂白剤でも良いのですが、漂白してしまうので、どうしても洗濯が難しい場合はアイロンを活用しましょう。

③トイレやドアノブなども塩素系漂白剤200ppmの濃度で拭き掃除しましょう。

【感染してしまったら・・・】

①水分をしっかり取りましょう。

*どうしても取られない場合は、病院で点滴してもらいましょう。*下痢止めは病気の回復を遅らせる可能性があるので使用しないことが望ましいでしょう。

(参考資料)

厚生労働省 ノロウイルスに関するQ&A

からたち薬局職員紹介

【事務 武井 友恵】

はじめまして、からたち薬局の事務の武井と申します。今年の6月から入りまして、あっという間に5ヶ月が経ちました。

私は完全に初心者で、お薬のこと、薬局のこと、保険のしくみのことなど全てゼロから優しい薬剤師さん達、同じ事務の方から丁寧に教えていただいて、本を読んで、勉強しています。1つ1つ、つまずいては皆様に迷惑をかけながらやらせていただいているのですが、新しいことを覚えていくのはとても楽しいです。早く1人前になって皆様のお役に立てるようがんばっていきますので、よろしくお願いします。

【事務 谷田 優】

皆さんこんにちは！からたち薬局事務の谷田と申します！！からたち薬局で事務として働きはじめ、1年半が過ぎようとしています。

私は人と触れ合う事が大好きで、学生時代からずっと医療現場で働きたいという強い想いがありました。前職はデイサービスでリハビリ助手として勤務し、沢山の方達と触れ合い、介護のやりがいや難しさ、楽しさや寂しさ、いろんな経験をする事ができました。

からたち薬局では、薬局が建つ前から色々な準備をさせていただき、1つの薬局を作るという大変貴重な経験をさせていただきました。私も、お薬のこと、薬局のこと、保険のしくみのことなど、全て机の上で学んだだけで経験も全くなく武井さんと同じゼロからのスタートでした。調剤の流れも分からず、共に働く皆さんを困らせ、患者さんをも困らせ（笑）どうしようもないスタートをきったあの日から1年半・・・なんとか“薬局の事務”として受付に立つことができるくらいまでになりました。・・・（と自分では思っています（笑））

私は上でも挙げたとおり、人と触れ合う事が大好きなので、患者さんの顔と名前も実はわりと覚えています（^^）（笑）何度も来て下さる患者様には“わあ！また来てくれた！”とうれしさと感謝の気持ちでいっぱいになります。

薬局の事務として働くまでは、調剤薬局でお薬をもらうことに関して“病院から近いからここがいいや”“空いているからここがいいや”とあまり深く

考えていませんでした。しかし、自分が調剤薬局で事務として働きはじめてから、毎回お薬をもらいに来てくれる患者様がどんなに貴重でありがたい存在か、そんな患者様へ出来る事はなんなのか、また、よりよい薬局にするにはどうしたらよいか、など色々と考える事が増えました。

これからも皆様に安心してお薬をもらって帰っていただけるような暖かい薬局を作っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。そして私たち事務の成長も、乞うご期待！！

（^^）（笑）

松戸市の歴史を知る vol.1

松戸市の名前の由来をご存知ですか？

諸説あるようですが、一つは馬の飼育が盛んであったために「馬の里」から「うまさ」と「まさ」とになり「まつど」になったという説。もう一つは、古くから宿場町として栄えた松戸は、渡し船を「待つ里」から「まつど」に転じたとも言われているそうです。

ここで今回は、今年10月に発行された写真アルバム『松戸市の昭和』（いき出版）という本をご紹介します。この本では、戦前からの松戸市発展の様子を写真でうかがい知ることができます。ご自身のお母さんの学生時代の写真をふと見つけるなんてこともあるかもしれません。

実は、中野さんは2枚見つけたそうです。「この場所はもともとこういう場所だったんだね～」などいろいろお話を聞かせてもらいたいな～と思える一冊です。



【昭和50年頃の八柱駅の様子】

外部研修報告

【あんず訪問看護ステーション所長 大塚かすみ】

第12回介護活動交流集會に参加して

11月21日千住介護福祉学校にて開催された東都協議会・ケアワーカー部会主催の交流集會に参加させていただきました。今回のテーマは「飛び越えよう地域の垣根」ということで、7演題の発表がありました。各事業所が様々な視点から、「自分達の地域」というものを改めて見つめなおした上での活動発表だったと思いますが、看護師の私にとってはケアワーカーさん達の視点はとても新鮮で刺激になりました。地域住民の方々にインタビューをしたり、認知症の利用者さんの自分史作成の取組み、運営推進会議の開催方法、地域包括ケア病棟の実際、在宅生活の限界の状況の老夫婦の事例発表など、地域と向き合い、利用者と向き合っている活動報告は、私達も頑張らねば!! と元気をもらった気がします。私が以前働いていた事業所の副所長さんの発表もあり、灌漑深く聞かせていただきました。

来年、私達幸樹会は、「看護小規模多機能型居宅介護さんしょう」を開設します。今回、看多機の事業所発表が2つありましたが、まだまだ知られていないこのサービスを広める仲間として、とても勇気をもらった気がします。私たちの事業所も開設したら、ぜひその取組みが発表できるように、地域とともに歩む事業所を作っていきたいと思います。

あんず畑報告!



11月3日(火)にはうれん草・菜ばな・小松菜の種をまいてきました。菜ばなと小松菜は種をばらまくと書いてあって、その程度がわからない私たちがまいた種は吉岡さんいわく「まきすぎ」とのことでした
(^^;)

今後、ベビーリーフを摘んで食べて、大きく元気に成長してもらえるよう隙間をあけていきます。

定期勉強会

●前回報告 11月20日(金)実施
テーマ「ケアを語ろう」 徳永進「こんなときどうする?」よりケアについて考えていく。

講師 武井幸穂

【参加者感想】

「13の和語 1. たつとぶ 2. いつくしむ 3. さする 4. はぐくむ 5. つつしむ 6. ひらく 7. わらう 8. とまどう 9. あやまる 10. ゆるしあう 11. いのる 12. ほろびる 13. ゆいまるの箇所を読んで生命倫理を考え、日本語の美しさと深さを感じました」

●次回学習会予定 テーマ「診療報酬改定と地域包括ケア」

日時: 12月18日(金)、18:30~19:30

場所: エトピ76番館201号

*参加希望申し込みや内容については、本部までお問い合わせください。外部の方も参加できます。

(連絡先は下記記載)

ブログもあります

●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

●あんず訪問看護ステーション

<http://ameblo.jp/anzu-kouju-kai/>

*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

一緒ににはたきませんか!?

新しい事業を一緒に作っていきませんか??

一緒に働く仲間を募集しています!

看護師・薬剤師・ヘルパー・ケアマネージャーの方!

詳しくは、本部へお問い合わせ下さい。

連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子

住所: 千葉県松戸市河原塚 394 エトピ76番館 201

TEL: 047-701-7550

E-mail: miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp

編集後記

皆さんは松戸市のことをどのくらい知っていますか? 歴史を知ることにはどんな意味があるだろうと考えたときに「好きな人」を思い浮かべました(照)「知ろうとする」ことは「好きになる」ことだと思います。そんな思いで【松戸市の歴史を知る】という新しいコーナーをはじめてみました。今年もあと一か月! 元気に過ごしましょう! 今後ともよろしく願いいたします。(奥村万里子)